

2019

日中ソフトウェア発展大会



2019.07.24

於：江蘇州南通市

The logo for the China Software Industry Association (CSIA), featuring the letters 'CSIA' in a bold, red, stylized font.

中国ソフトウェア産業協会

The logo for the Computer Software Association of Japan (CSAJ), featuring the letters 'CSAJ' in a bold, red, stylized font with 'Computer Software Association of Japan' written in smaller text below.

一般社団法人
コンピュータソフトウェア協会

目次

2019 日中ソフトウェア発展大会 次第	3
参加メンバー	4
レポート	5
南通市人民政府副市長 潘建華氏による挨拶とスピーチ	5
日本国駐上海総領事館首席領事（副総領事） 亀井啓次氏 挨拶	6
工業情報化部情報化・ソフトサービス業司副司長 李冠宇氏挨拶	6
フォーラム	7
「時空間ビッグデータクラウドプラットフォーム及び知能活用」	7
「ソフトウェア業界の信頼あるブランドシステムを作り、ともにソフトウェア産業の発展できるエコシステムを作る」	7
「日本ソフトウェア産業発展状況のご紹介」	8
「企業ソフトウェア開発から企業クラウドサービスへ」	9
「日中経済関係の現状と展望」	10
「インクルージョン・インテリジェント製造で中国製造企業のデジタル化変換にサービスを提供」	11
「プロダクト開発からサービス開発へ」	12
「ファーウェイクラウド DevCloud がソフトウェア業界とアップグレードを支援」	13
日中ソフトウェアパーク、中天科技南通科創センター訪問	14
江蘇中天科技股份有限公司(Jiangsu Zhongtian Technologies Co., Ltd.)見学	15
参加企業同士の懇親会（マッチング）	15
総括	17

2019 日中ソフトウェア発展大会 次第

開催日時：2019年7月24日（水）9:00-17:30

会場：江蘇州南通市 ホテルインターコンチネンタル南通
元禧2+3会議室

内容	時間	タイトル	登壇者
開幕式	9:00-9:05	ゲスト紹介	司会
	9:05-9:30	歓迎のご挨拶	南通市人民政府副市長 潘建華
	9:30-9:35	挨拶	日本国駐上海総領事館首席領事 (副総領事) 亀井啓次 氏
	9:35-9:40	挨拶	工業情報化部情報化・ソフトサー ビス業司副司長 李冠宇
	9:40-9:45	日中ソフトウェア生産園区開業式	
フォーラム	9:45-10:05	時空間ビッグデータクラウドプラットフォ ーム及び知能活用	ヨーロッパ科学院メンバー/ロシ ア自然科学院外国人メンバー 金 双羽
	10:05-10:20	ソフト業界信頼性の高いブランド体系構築 ソフト産業発展生態環境構築に頑張る	中国ソフトウェア産業協会副理事 長&秘書長 呂衛鋒
	10:20-10:35	日本ソフトウェア案業発展状況のご紹介	CSAJ 副会長 伊藤裕二氏
	10:35-10:50	企業ソフトから企業クラウドサービスへ	用友ネットテック株式会社副 総裁 郝偉明
	10:50-11:05	日中経済関係の現状と未来	日本貿易振興機構(JETRO)上海代 表処首席代表 小栗道明氏
	11:05-11:20	蜂の巣リンクテク情報共有	中国ソフト江蘇地区ソリューションズ 総経理 李松濤
	11:20-11:35	プロダクト開発からサービス開発へ	株式会社豆蔵執行役員技術コンサル ティング事業部第一コンサルテ ィング部部长 楠部集氏
	11:35-11:50	クラウド化時代ソフト企業の競争力構築	華為ソフト開発クラウドソリュー ションズ総監 黄聡導
休憩/昼食			
見学・交流会	14:30-17:30	日中ソフトウェアパーク、中天科技南通科創センター訪問	

参加メンバー

	会社名	役職	氏名
1	株式会社フォーラムエイト	代表取締役社長	伊藤 裕二
2	株式会社フォーラムエイト	取締役副社長	武井 千雅子
3	株式会社豆蔵ホールディングス	会長補佐 政策・渉外担当	野田 伊佐夫
4	株式会社豆蔵	MZ執行役員 技術コンサルティング事業部	楠部 集
5	サイボウズ株式会社	営業部 副総経理	増田 導彦
6	サイボウズ株式会社	営業総監	朱成其
7	株式会社アスペックス	代表取締役社長	吉田 一也
8	株式会社バース情報科学研究所	代表取締役社長	村瀬 正典
9	株式会社デザインクリエイション	特別顧問	竹原 司
10	株式会社デザインクリエイション	開発部	郭振書
11	株式会社大和コンピューター	ソリューション統括本部 グループリーダー	西村 基樹
12	株式会社大和コンピューター	ソリューション統括本部	植田 健太
13	東京システムハウス株式会社	代表取締役社長	林 知之
14	東京システムハウス株式会社	取締役事業部長	野澤 伸一
15	株式会社インフィニテック	代表取締役社長	芳賀 紳
16	長城コンサルティング株式会社	取締役営業本部長	銭 大涛
17	株式会社ヒューマンテクノロジーズ	代表取締役社長	恵志 章夫
18	株式会社エクスト	代表取締役社長	高畑 欽哉
19	エイチスリーパートナーズ有限公司	取締役社長	谷川 真一
20	株式会社CBS	代表取締役	中井 政昭
21	オールウィンシステム株式会社	代表取締役社長	鳳 聖翼
22	株式会社物研	代表取締役社長	土肥 克次
23	株式会社エーデックス	代表取締役	寺門 聡一郎
24	社会保険労務士山田事務所	代表	三井 敏彦
25	商業計算機新聞社 (BCN上海支局)		齋藤 秀平
26	商業計算機新聞社 (BCN上海支局)		夏 文彬
27	備実必 (上海) 軟件科技有限公司	董事 総経理	巴音 都仁
28	大阪大学	工学部 環境・エネルギー工学科 准教授	福田 知弘
29	日本RXテクノロジー株式会社	開発部長	化 吉龍
30	株式会社ウィンリッチ	流通事業推進部室長	陶 伝剛
31	CSAJ	理事・事務局長	原 洋一
32	CSAJ	事務局 業務課 係長	中野 正
33	CSAJ	事務局 業務課	馬 倩

レポート

南通市人民政府副市長 潘建華氏による挨拶とスピーチ

【南通市の取り組みについて紹介】

17平方キロメートルのソフトウェアパーク（ハイテクパーク）を建設、開設。

ビッグデータパーク入所企業は、来年200社を超える見込み。

南通市は応用型人材の輩出を目指し、6大学から1万名の（ハイテク）ソフトウェア人材を輩出しており、成熟したソフトウェア人材の調達が可能。



外国企業の参入、南通市での起業をサポートしており、3年契約で進出することで企業に支援金による援助、特に住宅について手厚いサポートをしており、起業しやすい環境となっている。起業に伴う手続きも整備されており、企業の負担は軽減され、90%はインターネットで手続きが完了できる。

南通市は「高品質なソフトウェア排出するエコシステム」の構築を目指している。結びのメッセージ “ソフトウェアは世界を定義し、データは未来を引き動かす。”

江蘇省 南通市概況

2018年末現在、南通市の人口は762万5000人で、都市部の人口は490万人となっており、前年より1.69%増加している。都市化率は67.1%（前年比101.07%）。

2018年、南通市は持続可能で安定した経済成長を遂げ、国内総生産（GDP）は前年同期比7.2%増の8,427億元（1,257億3000万ドル）で、永住者の一人当たりGDPについても前年同期比7.1%増の115,320元となっている。一般公的歳入は606.2億元で、2017年比2.6%の増加となった。

南通は漢民族が支配的な集団として民族的に混在する中心地である。豊富な製品と優れた人々で有名で、織物、建築、教育の故郷として知られるなどの栄誉を誇っている。南通市は、改革と開放の開始以来、中国がさらに外界に開放してきた沿岸港湾都市の一つである。

21世紀に入って、文明文化、環境保護、衛生、庭園、生態学、公安の優れた包括的な管理、そして全国ランキングで上位を獲得し、あらゆるレベルで飛躍的な方法で、その経済と社会を発展させた。

南通市は中国東海岸回廊と長江河口が交わる地点に位置し、川を隔てて上海と眺めあい、日本の横浜と東京の位置関係に似ている。2020年に上海・南通鉄道が完成すれば、40分で上海に到着できる。国際便は世界各主要都市にリンクしており、海上の港と江沿線の深水ルートを共に備え、世界各港と長江沿線都市をつないでいる。



日本国駐上海総領事館首席領事（副総領事） 亀井啓次氏 挨拶



90年代後半に日本でIT革命が起こり、パソコンや携帯電話の普及によって人々の生活様式が大きく変わってきている。現代の生活はインターネットから切り離せないようになりつつある。通信ネットワークでは、今年は5Gネットワーク元年と呼ばれ、中国はこの分野で世界トップの地位にある。中国に住んでいるので、中国の発展ぶりを強く感じる。中国ではIT産業が全面的に展開され

ているとともに、現在、ハイテク企業を発展させることにも注力されている。外資企業を含め、南通には中国の精密機械、電子工業などの企業が大いに集まっている。日本は50年間の産業用ロボットの開発歴史をもっており、様々な技術が開発されてきた。これらの技術を急速に発展する中国市場に投入し、さらに新機軸を打ち出し、成熟させていくことで、日本の技術力をさらに高めることにも繋がると信じている。

先月の大阪G20サミットの前に行った日中首脳会議では、双方は日中関係が絶えず新たな進展を遂げていることを確認し、新時代を開く決意を固めた。

今日は中国ソフトウェア産業協会、一般社団法人コンピュータソフトウェア協会及び多くの専門家が臨席し、日中両国のIT産業の現状と未来の展望について、素晴らしいスピーチを演じ、日中両国のIT産業の将来の連携強化をすることを期待している。

工業情報化部情報化・ソフトサービス業司副司長 李冠宇氏挨拶

南通市のソフトウェア産業の売上は年間17%の伸びを示し、今後、数百社の日本企業の進出を見込んでいる。



中日ソフトウェア産業園の開業式



フォーラム

「時空間ビッグデータクラウドプラットフォーム及び知能活用」

ヨーロッパ科学院会員/ロシア自然科学院外国人会員 金双根氏



デジタル・アースからスマート・アースへ

- ・位置情報サービスと需要
- ・位置情報とクラウド
- ・クラウドサービスと応用
- ・クラウドプラットフォーム+未来

中国科学技術院の全地球衛星測位システム(GNSS)戦略について、この技術を一帯一路の全ての地域で利用可能とすることで、地滑りや地震の予兆も把握可能となるほか、軍事利用の価値も大いに見込まれる。

- ・低軌道に多数の衛星を打ち上げ、計測精度を mm 単位として、人と物を含む万物の位置を常時把握する。
- ・電離層、大気圏での電波散乱を精密計測し、衛星から全世界の天候を把握。
- ・微弱な電波散乱をキャッチして、水中、地中の状況まで把握。

「ソフトウェア業界の信頼あるブランドシステムを作り、ともにソフトウェア産業の発展できるエコシステムを作る」

中国ソフトウェア産業協会(CSIA)副理事長兼秘書長 呂衛鋒氏



「日本ソフトウェア産業発展状況のご紹介」

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 副会長 伊藤裕二氏



CSAJ と日本ソフトウェア産業の現状を紹介

自社で市場ニーズを分析し、企画、開発、商品化した既成ソフトウェア（企画開発型ソフトウェア）を販売、あるいはそれを利用したサービスを提供している企業を中心とした日本最大の団体である CSAJ は、OBC、PCA といった会計のパッケージソフトをはじめ、マイクロソフト、グーグルといったグローバル企業や日本を代表する IT 企業が会員となっている。現在の会員数は 638 社で、会長は豆蔵ホールディングス会長兼社長の荻原紀男、副会長はフォーラムエイト代表取締役社長の伊藤裕二がつとめる。

業界団体として、日本政府へ政策提言をするとともに、政府の取り組みに対して、業界として対応することや会員同士の課題解決の為に、各委員会や交流イベントなどを実施しているほか、年内に中国上海に拠点を置き、日本企業の中国進出を支援するとともに各国の協会が集積する環境を利用し、世界との連携を強化していきたいと考えている。

日本の情報サービス産業市場は約 23 兆円あり、そのうち受託開発は 10 兆円、CSAJ が対象としているパッケージソフトを中心としたソフトウェアプロダクツは 10.8% の 2.4 兆円となっている。CSAJ は一度開発し売り上げが上がると利益率の高いビジネスとなっているパッケージソフトを攻めのビジネスモデルと考え、会員企業が安定した経営ができるように推進しており、そのための IT 導入補助金を提言し、実施している。

現在日本が抱える課題は「25 年の崖」と言われ、2025 年までにレガシーシステムの刷新を集中的に推進する必要がある、これをデジタル・トランスフォーメーション時代と呼んでいる。そのための日本の課題は、IT 人材の不足が挙げられるが、CSAJ は日本の DX 人材、つまり、先端 IT 人材の環境を考えるため、今度 IT 技術を活用したビジネス創造プログラムを開発しているほか、AI 人材についても次世代 AI 人材育成ため来年度プログラム化するなど、人材育成に力を注いでいく。

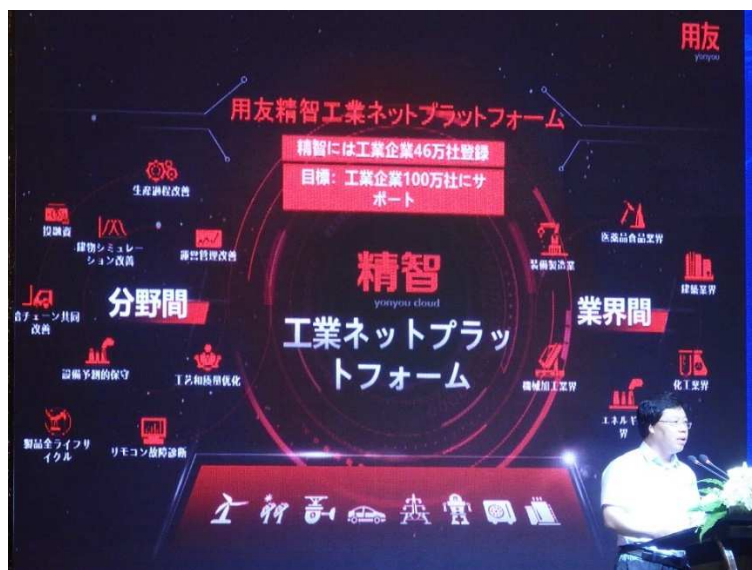
「企業ソフトウェア開発から企業クラウドサービスへ」

用友ネットテック株式会社副総裁 郝偉明氏

中国を代表する財務会計用パッケージソフトウェアベンダー用友。中国市場に圧倒的なシェアを持ちながら、企業用クラウドサービスのプラットフォームを整備し、従来のライセンス販売モデルから、クラウドサービスの展開へと転換をはかってきた。

南通の強みを生かし、製造・建築業にもサービスを展開、工業ネットワークプラットフォームの整備を進めている。

顧客至上主義。顧客に耳を傾ける、顧客にサービスを提供、エコシステムを提供し、付加価値を創造する。それを30年一貫して続けている。クラウドプラットフォーム構築で世界にサービスを提供する企業を目指す。



「日中経済関係の現状と展望」

日本貿易振興機構(JETRO)上海代表処首席代表 小栗道明氏

日中摩擦（2012年の反日デモ）による中国からの日本企業の撤退により、ASEAN 諸国に注目が集まっているが、ASEAN 諸国の市場より、中国の各省の市場規模は圧倒的に大きい。

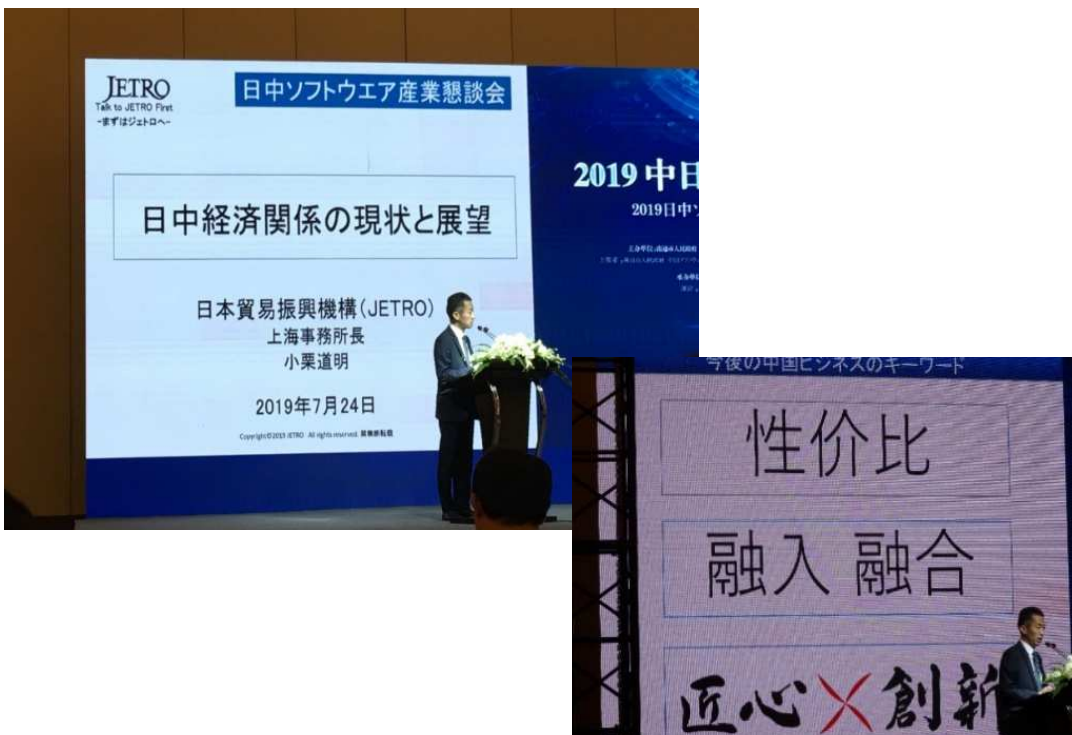
現状、中国の成長産業は、建設、不動産、情報処理の3つであるが、約15%の人口が建設業に従事（日本は7.5%）している状況は健全ではない。

中国においても、消費主導の発展、第三次産業（ソフトウェア含む）の拡大が進みつつある。

中国全土について統計資料を見ると、北部（華北、東北）の景気が悪く、南部、内陸部の経済状況が良好であることがわかる。江蘇省は活況であり、南通市は経済指標による二級都市ランキングの19位に位置する。これまで、南通における投資は、製造業に偏ってきたが、今後はサービス産業への投資に期待している。

今後の中国ビジネスのキーワード

- ・コストパフォーマンス（価格と品質のバランス）
- ・中国との 融入 融合
- ・匠心 と 創新（イノベーション）



「インクルージョン・インテリジェント製造で中国製造企業のデジタル化変換にサービスを提供」

中国ソフト江蘇地区ソリューションズ総経理 李松濤氏

ハニーコンボ社は、大手情報通信企業である中軟国際有限公司のグループ企業（子会社）であり、製造業において中軟国際が最大手企業をターゲットとするのに対し、優秀な中小企業をターゲットとするスマートソリューションを展開している。

企業にスマート製造の格付を行い、工業 IoT ソリューションとしてマイクロアプリケーションを展開し、スマート化を支援。

受注から出荷まで IoT をベースとするスマートファクトリー向けのソフトウェア開発プラットフォームを所有し、エコシステムとして提供している。

企業の管理者層のインテリジェント製造のリテラシー向上・教育、人材育成にも力を入れており、ソフトウェア開発プラットフォームの各地方のソフトウェアパークへの展開を目指している。



製造企業の転換とアップグレードを可能にし、業界トップの工業連携ソリューションを提供する

- ホッシュと連携し、IoTキットに基づく工業連携ソリューションを構築し、センサー技術、ソフトウェアやサービス及びクラウドプラットフォームなどの優位技術を利用して、製造企業に統合のクロスドメインにおける相互接続ソリューションを提供する。

購買決定&サプライヤー管理
調達物資の生産進捗、供給直捗、検査合格率などをリアルタイムで取得し、管理する

見える化隣接作業場
透明化で現場の生産を展示する。搬送、生産設備の稼働、物資の移動など

データ分析
生産計画・設備稼働、生産製造過程、製造サービス過程に対してリアルタイムを行う

相互接続の国際生産ネットワーク
クラウドで国際的な地域間の設計、生産、物流、サービス保障ネットワークを構築する

追跡&スマート物流
単品追跡、ロット追跡による正歩方式を提供し、物流自主供給体系を提供する

ネット設備予知性メン
生産設備に対してメンテナンス・バスパーツを確立

「プロダクト開発からサービス開発へ」

株式会社豆蔵執行役員 楠部集氏

豆蔵の強み（工学からのアプローチ）

ものの所有から、サービスの利用へ市場のニーズが変化中、強みであるシステム工学、ソフトウェア工学に加え、ロボット工学やメカ、エレキの幅広い領域に対する知識を有し、PSS（Product-Service System）製品サービスシステムの提供ができる。ロボットシステム全体の試作機開発が可能。

日本はこれまでものづくりに固執しすぎ、サービスへの対応が後手にまわる傾向があった。これまでに蓄積した技術を活かし、いかにものを作らずにソフトウェアサービスを作るかが課題となる。

例えば自動車のプロトタイプはハード、ソフト込みで3年かかる。さらにそこからサービス要求を取り入れる必要がある。ビジネスの実現に、よりスピードが求められる中、いかに実車を作らないで、サービス要求を満たすソフトを作るかが重要。



「ファーウェイクラウド DevCloud がソフトウェア業界とアップグレードを支援」

ファーウェイクラウド BU ソフトウェア 開発クラウドソリューションディレクター
黄聡導氏

クラウドは DX の主要な実現方式である。SaaS 化がトレンドとなり、サービスを提供クラウド化・サービス化、マイクロアーキテクチャー、Ajile にシフトが進み、Cloud-Native なサービスが展開されている。

①企業の開発モデルのモデルチェンジ

商品やマイクロサービス

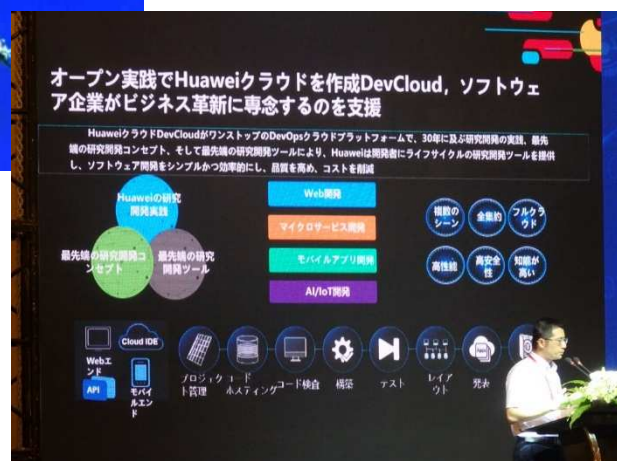
オフライン開発は効率が低い

ファーウェイ、アリババなどがプラットフォームを提供、そこにミドルウェアが載って、開発のスピードは飛躍的に向上している。

プラットフォームを提供することで、ソフトウェア企業がビジネス革新に専念できる。

DevCloud は中国シェアナンバー1 の開発プラットフォーム。今後は AI 実現プラットフォームに進化する。7,000 社、100 余の大学、各都市のパークに導入され、欠陥率を 20% 低減、コストを 10% 削減、開発効率 50% 以上アップといった成果を上げている。

南通市のソフトウェアパークにはファーウェイの人材も入ってサポートする。



日中ソフトウェアパーク、中天科技南通科創センター訪問



挨拶及び、ソフトウェアパークの概要説明：



HYRON 上海海隆软件有限公司 王彬氏
による企業紹介



江蘇華岡計算機系統有限公司 副總經理 顧建氏による企業紹介



江蘇中天科技股有限公司(Jiangsu Zhongtian Technologies Co., Ltd.)見学

江蘇中天科技股有限公司は特殊光ケーブルメーカーであり、国家レベルのインフラに携わる大手のハイテク企業。本社は上海で、南通には研究開発センター(Nantong Research & Development Center)がある。



参加企業同士の懇親会（マッチング）

日中ソフトウェア発展大会に参加した現地企業と CSAJ 参加企業との懇親会を実施。それぞれ名刺交換や事業紹介等を行った。



参加者全員による記念写真



総括

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 副会長
株式会社フォーラムエイト
代表取締役社長 伊藤裕二

本中国視察ツアーが昨年につき執り行えたのは、国際委員会並びにアジアビジネス研究会の積極的な取り組みによるものと深く感謝します。

また、CSAJ 事務局のバックアップにより日中関係が盛り上がりとする絶好の時期に、ツアー及び日中ソフトウェア発展大会が無事、盛況裏に開催できたことも感謝いたします。

全体を通じて荻原会長との北京、上海同行訪問が下地になって CSAJ の姿勢を示すことができたのではないかと思います。我々の訪問、大会への参加に対して中国側の関係者は常に敬意を持って終始明るく対応していただき、一度も不満に感じたことはありませんでした。

日中相互に素晴らしいビジネスの可能性があり、とりわけ IT、AI の未来に確信的な可能性を確認できたのではないかと思います。

来年には習近平国家主席の国賓としての来日が予定されており、ビジネス環境が高まりを迎え、今まで主役では無かった日中の IT 業界に大きなチャンスが齎されると考えます。関係の皆様、事務局長以下事務局スタッフの皆さんご苦勞様でした。